



## 2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月12日

上場会社名 イオン九州株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2653 URL <https://www.aeon-kyushu.info/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 祐司  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 赤木 正彦 TEL 092(441)0611  
管理・コーポレートコミュニケーション担当  
四半期報告書提出予定日 2023年7月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第1四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

|               | 営業収益    |   | 営業利益  |   | 経常利益  |   | 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 |   |
|---------------|---------|---|-------|---|-------|---|----------------------|---|
|               | 百万円     | % | 百万円   | % | 百万円   | % | 百万円                  | % |
| 2024年2月期第1四半期 | 123,397 | — | 1,942 | — | 2,149 | — | 1,753                | — |
| 2023年2月期第1四半期 | —       | — | —     | — | —     | — | —                    | — |

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 1,693百万円 (—%) 2023年2月期第1四半期 一百万円 (—%)

|               | 1株当たり<br>四半期純利益 | 潜在株式調整後<br>1株当たり<br>四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
|               | 円 銭             | 円 銭                        |
| 2024年2月期第1四半期 | 50.44           | 50.41                      |
| 2023年2月期第1四半期 | —               | —                          |

(注) 2024年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年2月期第1四半期の数値および対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

|               | 総資産     | 純資産    | 自己資本比率 |
|---------------|---------|--------|--------|
|               | 百万円     | 百万円    | %      |
| 2024年2月期第1四半期 | 164,536 | 47,175 | 28.4   |
| 2023年2月期      | —       | —      | —      |

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 46,794百万円 2023年2月期 一百万円

(注) 2024年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年2月期の数値については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

|              | 年間配当金  |        |        |       |       |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
|              | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末    | 合計    |
|              | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭   | 円 銭   |
| 2023年2月期     | —      | 0.00   | —      | 28.00 | 28.00 |
| 2024年2月期     | —      | —      | —      | —     | —     |
| 2024年2月期（予想） | —      | 14.00  | —      | 14.00 | 28.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

|    | 営業収益    |   | 営業利益  |   | 経常利益  |   | 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 |   | 1株当たり<br>当期純利益 |
|----|---------|---|-------|---|-------|---|---------------------|---|----------------|
|    | 百万円     | % | 百万円   | % | 百万円   | % | 百万円                 | % | 円 銭            |
| 通期 | 500,000 | — | 7,900 | — | 8,000 | — | 4,300               | — | 124.02         |

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2024年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

|                     |            |             |            |             |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年2月期1Q | 34,833,558株 | 2023年2月期   | 34,833,558株 |
| ② 期末自己株式数           | 2024年2月期1Q | 75,032株     | 2023年2月期   | 76,562株     |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計）    | 2024年2月期1Q | 34,758,515株 | 2023年2月期1Q | 34,654,322株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報           | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明               | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明               | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明    | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記           | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表               | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書                   | 7 |
| 第1四半期連結累計期間                  | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書                 | 8 |
| 第1四半期連結累計期間                  | 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項        | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記)              | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)     | 9 |
| (会計方針の変更)                    | 9 |
| (会計上の見積りの変更)                 | 9 |
| (セグメント情報等)                   | 9 |
| (重要な後発事象)                    | 9 |

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2022年9月1日付け「合弁会社の設立に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、ウエルシアホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本 忠久）との合弁会社としてイオンウエルシア九州株式会社（以下、イオンウエルシア九州といいます。）を設立し子会社といたしました。当該子会社においては、2024年2月期より出店を加速していく計画であり、当社の企業価値向上において重要性が高まることが予想されるため、当該子会社を連結の範囲に含め、当第1四半期連結会計期間より連結決算に移行いたしました。そのため、前第1四半期連結累計期間に四半期連結財務諸表を作成していないことから、（1）経営成績に関する説明、（2）財政状態に関する説明において前年同四半期及び前期末との比較分析は行っていません。

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年3月1日～2023年5月31日）における国内経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行されたことで、社会・経済活動の正常化が徐々に進みました。当社が経営基盤とする九州におきましても、雇用・所得の改善を背景に個人消費は緩やかな回復傾向となり、さらに入国規制の緩和等によりインバウンド需要の回復が顕著となりました。一方で、為替相場の変動やエネルギー価格の高騰など、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は「九州でNo. 1の信頼される企業」の実現に向け、中期経営計画に掲げた「食の強化」「非食品分野の専門化」「デジタルトランスフォーメーション（DX）推進」「環境・地域社会への貢献」の取り組みを推進しております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高にその他の営業収入を加えた営業収益1,233億97百万円、営業利益19億42百万円、経常利益21億49百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益17億53百万円となりました。なお、単体における当第1四半期累計期間の業績は、いずれも過去最高を更新しております。

（参考）イオン九州株式会社単体における経営成績は、以下のとおりです。（単位：百万円）

|        | 2023年2月期<br>第1四半期 | 2024年2月期<br>第1四半期 | 対前年同四半期<br>増減率 |
|--------|-------------------|-------------------|----------------|
| 営業収益   | 114,839           | 123,292           | 7.4%           |
| 営業利益   | 566               | 2,069             | 265.3%         |
| 経常利益   | 806               | 2,276             | 182.2%         |
| 四半期純利益 | 530               | 1,818             | 243.0%         |

当四半期における主な取り組みは以下のとおりです。

（今後の成長に向けた取り組み）

- 新規出店としては、「イオンなかま店（福岡県中間市）」、「マックスバリュエクスプレス室見店（福岡県福岡市早良区）」、「マックスバリュ城野駅前店（福岡県北九州市小倉南区）」に加えて、イオンウエルシア九州の第1号店となる「ウエルシアプラス大野城若草店（福岡県大野城市）」をオープンしました。「ウエルシアプラス」は、調剤併設型ドラッグストアと生鮮食品・弁当・総菜まで揃えたスーパーマーケットを融合し、地域のお客さまのWell-beingの実現をお手伝いする地域の健康ステーションを目指した新しいスタイルの店舗で、今後出店を加速する計画です。
- 地域の困りごと解消のお手伝いと地域コミュニティの場づくりを担い、皆さまの暮らしがより便利になる新たな販売サービスとして「イオンの移動販売」を大分県由布市及び福岡県中間市にて開始しました。なお、同サービスにおいては、販売車に積むことのできない大型サイズの商品やまとめ買い等のご要望にもお応えできるよう、「イオンネットスーパー」との連携に取り組んでおります。
- 「イオンネットスーパー」では、忙しい毎日のお買い物時間を短縮し、お客さまの生活スタイルに合わせたお買い物をサポートするべく、「JR筑前前原駅（福岡県糸島市）」「JR九大学研都市駅（福岡県福岡市西区）」に「受け取り専用ロッカー」を設置、更なる利便性向上に努めました。
- 6月より「イオン九州アプリ」のクーポン配信機能を、イオングループの公式トータルアプリ「iAEON」に移行しました。これにより、「決済」「ポイント」「クーポン」「お得な情報」が一つのアプリで完結できるようになり、よりお得に、便利でスピーディなお買い物をお楽しみいただけます。今後も新たな機能追加を通して、お客さまにさらに便利で、お得なお買い物スタイルをご提案してまいります。

（収益力向上の取り組み）

- 店舗面では、総合スーパー（GMS）1店舗、スーパーマーケット（SM）2店舗を活性化し、店舗の魅力向上に取り組まれました。このうち、「イオン小郡ショッピングセンター（福岡県小郡市）」では、より地域のお客

さまの暮らしに密着した店舗を目指し、地域最大級の冷凍食品の品揃えに取り組んだほか、こだわりの珈琲豆や輸入食品を品揃えした「カフェランテ」や新たな専門店を導入しました。

- ・商品面では、外出や社会行事関連の需要の高まりに対応するべく、トラベル関連商品や化粧品、ウェルネスグッズ、総菜や冷凍食品等の品揃えを拡充しました。また、九州・沖縄・山口の各県のご当地食材や加工品を取り揃えた「大九州マルシェ」の開催、九州の生産者、お取引先さまと協力し、月替わりで「素材にこだわった逸品」企画の実施等、地産地消・地産域消の取り組みを推進しました。
- ・様々な商品の値上げが相次ぐ中で、生活応援施策として実施してきた「本気の価格」を「しあわせプラス」としてスケールアップし、引き続き企業努力により食品や日用品等の価格維持に努めました。
- ・経費面では、セルフレジや電子棚札の導入店舗拡大、販促施策のデジタルシフト等に継続して取り組み、店舗オペレーションの効率改善及び生産性の向上に努めました。

（パーパスの制定及びマテリアリティの特定）

当社は、昨年の設立50周年を機に、100年企業を目指すために当社に求められる社会的役割について次の50年を担う若手社員が中心となり議論を重ね、今年5月に「私たちの『たからもの』九州をもっとー」をパーパスとして制定いたしました。そしてパーパスを達成するために優先的に取り組むべきテーマとして特定した6つのマテリアリティ（重要課題）とともにWebサイト（※）にて公表しております。これまで支えていただいたすべてのステークホルダーの皆さまとの「つながり」をもっと強固なものにして、これからも九州の成長に貢献し、明るく元氣な未来を創り出すために、従業員一人ひとりが変革と挑戦を続けることができる企業を目指してまいります。

※WebサイトのURL <https://aeon-kyushu-sustainability.com/>

（地域貢献・持続可能な社会の実現に向けた取り組み）

当社は、九州の成長と暮らしの豊かさに貢献するという経営理念のもと、事業活動を通じ、地域貢献、持続可能な社会の実現に向けた活動に取り組んでいます。当四半期における主な取り組みは次のとおりです。

- ・CO<sub>2</sub>排出量削減の取り組みとして、当四半期において「イオン小郡ショッピングセンター」にPPAモデル（※）を導入し、太陽光発電電力を自家消費しています。  
※PPAモデルとは、「Power Purchase Agreement（電力販売契約）」の略で、PPA事業者が、電力需要家の敷地や屋根等のスペースを借り太陽光発電システムを設置し、そこで発電した電力を電力需要家に販売する事業モデルです。
- ・2019年より実施している「フードドライブ（食品の寄附活動）」の取り組みでは、当四半期において新たに「マックスバリュエクスプレス」や「ザ・ビッグ」、「ホームワイド」等を加え、九州7県及び山口県で合計279店舗に規模を拡大し、取り組みを推進しています。
- ・当社が運営する自転車専門店「イオンバイク」で展開しているオリジナルブランドサイクル「hygge（ヒュッゲ）」の収益金の一部を、九州各県のフードバンク団体さまに寄附しました。寄附金は、困りごとを抱えているご家庭や団体への食糧支援や、未来を担う子どもたちの健やかな成長を応援するために役立てられます。
- ・お買い物を通してできる社会貢献として、4月に「環境特別WAONボーナスポイント」を実施しました。この取り組みは、対象の環境配慮型商品をお買い上げいただくとお客さまに付与されるWAONボーナスポイントと同額が公益財団法人イオン環境財団へ寄附され、森の再生のための植樹の苗木代などの環境保全活動に役立てられる取り組みで、昨年は寄附金を利用して、宮崎県東諸県郡綾町にてソメイヨシノ・カツラ・センダンなど約30種の植樹を実施しております。
- ・単なる不用品回収にとどまらず、お客さまご自身が環境や社会への配慮に参加し、取り組みを体感いただける機会として、4月に当社の22店舗で衣料品の回収イベントを実施しました。初めて開催した昨年4月には3日間で約7.9トンの回収実績があり、リサイクルされたポリエステル繊維を一部使用した衣料品を当社の店舗で販売しました。今回も同様に回収、リサイクル、製造、販売までの「服から服」への循環を予定しています。
- ・万が一の災害に他企業や行政と連携して備えることで、地域の皆さまが安心して暮らせるまちづくりに貢献するべく、3月には福岡県糟屋郡志免町、4月には鹿児島県鹿屋市と「災害時における生活必需物資供給確保等についての協定」を締結しました。
- ・当社は、保護犬猫の譲渡促進に取り組む団体の活動に賛同し、店舗駐車場において各保護団体と継続的に保護犬猫の譲渡会イベントを開催しています。5月には、イオンペット株式会社との合同での動物愛護イベントをイオンモール八幡東（福岡県北九州市八幡東区）にて開催しました。これらのイベントを通して、保護動物とご家族の新たな出会いをサポートするとともに、保護動物を取り巻く社会課題を地域のお客さまに伝え、未来を担う子ども達にも、動物と共生する未来を考えてもらう機会の創出につなげてまいります。
- ・九州エリアにおける流通小売業のサステナビリティ推進を目的として、趣旨に賛同する11社で5月に設立した「九州流通サステナビリティサロン」における取り組みの一環として、6月の環境月間に合わせて、賛同する流通企業5社の店舗（約310店舗）で「サステナブル共同販促」を実施しました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,645億36百万円となりました。

流動資産合計522億70百万円の主な内訳は、現金及び預金が63億81百万円、棚卸資産が285億96百万円でありま

す。

固定資産合計1,122億66百万円の主な内訳は、有形固定資産が887億43百万円、差入保証金が143億26百万円でありま

す。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債は、1,173億60百万円となりました。

流動負債合計854億18百万円の主な内訳は、支払手形及び買掛金が395億71百万円、1年内返済予定の長期借入金が75億円、短期借入金が52億円であります。

固定負債合計319億41百万円の主な内訳は、長期借入金が173億47百万円、資産除去債務が40億5百万円でありま

す。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、471億75百万円となりました。

主な内訳は資本金が49億15百万円、資本剰余金が108億71百万円、利益剰余金が311億84百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期通期の連結業績見通しにつきましては、本資料の公表時点において、2023年4月12日付の「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」において公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 当第1四半期連結会計期間<br>(2023年5月31日) |         |
|------------------------------|---------|
| <b>資産の部</b>                  |         |
| 流動資産                         |         |
| 現金及び預金                       | 6,381   |
| 売掛金                          | 3,566   |
| 棚卸資産                         | 28,596  |
| その他                          | 13,733  |
| 貸倒引当金                        | △7      |
| 流動資産合計                       | 52,270  |
| 固定資産                         |         |
| 有形固定資産                       |         |
| 建物及び構築物（純額）                  | 39,523  |
| 土地                           | 40,346  |
| その他（純額）                      | 8,872   |
| 有形固定資産合計                     | 88,743  |
| 無形固定資産                       | 256     |
| 投資その他の資産                     |         |
| 差入保証金                        | 14,326  |
| その他                          | 8,942   |
| 貸倒引当金                        | △2      |
| 投資その他の資産合計                   | 23,266  |
| 固定資産合計                       | 112,266 |
| 資産合計                         | 164,536 |
| <b>負債の部</b>                  |         |
| 流動負債                         |         |
| 支払手形及び買掛金                    | 39,571  |
| 短期借入金                        | 5,200   |
| 1年内返済予定の長期借入金                | 7,500   |
| 未払法人税等                       | 412     |
| 賞与引当金                        | 2,458   |
| 店舗閉鎖損失引当金                    | 62      |
| その他                          | 30,214  |
| 流動負債合計                       | 85,418  |
| 固定負債                         |         |
| 長期借入金                        | 17,347  |
| 資産除去債務                       | 4,005   |
| その他                          | 10,589  |
| 固定負債合計                       | 31,941  |
| 負債合計                         | 117,360 |

（単位：百万円）

| 当第1四半期連結会計期間<br>(2023年5月31日) |         |
|------------------------------|---------|
| 純資産の部                        |         |
| 株主資本                         |         |
| 資本金                          | 4,915   |
| 資本剰余金                        | 10,871  |
| 利益剰余金                        | 31,184  |
| 自己株式                         | △32     |
| 株主資本合計                       | 46,938  |
| その他の包括利益累計額                  |         |
| その他有価証券評価差額金                 | 48      |
| 退職給付に係る調整累計額                 | △191    |
| その他の包括利益累計額合計                | △143    |
| 新株予約権                        | 43      |
| 非支配株主持分                      | 338     |
| 純資産合計                        | 47,175  |
| 負債純資産合計                      | 164,536 |



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

|                     | 当第1四半期連結累計期間<br>(自 2023年3月1日<br>至 2023年5月31日) |
|---------------------|---|
| 売上高                 | 117,044                                       |
| 売上原価                | 87,470  |
| 売上総利益               | 29,574  |
| その他の営業収入            | 6,352   |
| 営業総利益               | 35,926  |
| 販売費及び一般管理費          | 33,984  |
| 営業利益                | 1,942   |
| 営業外収益               |   |
| 受取利息                | 3   |
| 受取配当金               | 1   |
| 差入保証金回収益            | 196   |
| 受取保険金               | 40  |
| その他                 | 32  |
| 営業外収益合計             | 275   |
| 営業外費用               |   |
| 支払利息                | 45  |
| その他                 | 23  |
| 営業外費用合計             | 68  |
| 経常利益                | 2,149   |
| 特別損失                |   |
| 店舗閉鎖損失              | 32  |
| 特別損失合計              | 32  |
| 税金等調整前四半期純利益        | 2,116   |
| 法人税、住民税及び事業税        | 108   |
| 法人税等調整額             | 318   |
| 法人税等合計              | 426   |
| 四半期純利益              | 1,690   |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △62   |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益    | 1,753   |

## （四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

|                 | 当第1四半期連結累計期間<br>（自 2023年3月1日<br>至 2023年5月31日） |
|-----------------|---|
| 四半期純利益          | 1,690   |
| その他の包括利益        |   |
| その他有価証券評価差額金    | △12   |
| 退職給付に係る調整額      | 15  |
| その他の包括利益合計      | 3   |
| 四半期包括利益         | 1,693   |
| （内訳）            |   |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,756   |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △62   |

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（会計上の見積りの変更）

（耐用年数の変更）

当社が保有する工具、器具及び備品のうち、冷凍冷蔵ショーケースについては、耐用年数を5年として減価償却を行ってきましたが、使用実態の検討を行い、より実態に即した経済的使用可能予測期間に基づく年数にするため、当第1四半期連結会計期間の期首より耐用年数を10年に変更しております。これにより、従来の方と比べて、当第1四半期連結累計期間の減価償却費が122百万円減少し、営業利益、経常利益、税金等調整前当期純利益がそれぞれ122百万円増加しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 2023年3月1日 至 2023年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループは、衣料品、食品、住居余暇商品、ホームセンター商品等を販売する小売業を営んでおりますが、「SM・DS、GMS」以外の事業はセグメント開示情報としての重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（GMS…総合スーパー、SM…スーパーマーケット、DS…ディスカウントストア）

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

2023年7月10日の豪雨による被害について

2023年7月10日に発生した豪雨により当社の店舗の一部で敷地・建物が浸水しました。これにより商品等の棚卸資産や店舗の設備等が被害を受けておりますが、被害額については現在調査中です。

なお、当該被害が第2四半期連結会計期間以降の経営成績及びキャッシュ・フローに及ぼす影響については現時点では合理的に算定することは困難であります。商品処分損や固定資産除却損及び復旧等に係る原状回復費用等の発生が見込まれます。